



学校だより

《学校教育目標》 自ら学び 人とかわり 創り出す子

令和2年5月29日

横浜市立東戸塚小学校

「心」の置きどころ

校長 南部 礼子

1棟昇降口横にビワの樹があります。今年も変わらず数え切れないほどの実がなっています。実が小さく緑色のときには、目を凝らしても茂った葉の中に実を見つけられないのですが、熟して山吹色に変化すると急に緑の中から現れて驚きと嬉しさを覚えます。春の始業式から季節は夏に向かって歩んでいます。

ようやく学校再開です。「この日まで本当に長かった」という思いです。ただ、まだまだ手放しで喜べる訳ではありません。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、段階的に教育活動を進めていくこととなります。この感染症の影響を受けて、社会の状況が変化する中で、不安になったり、いつもとは違う心の状態になったりするのは、誰にとってもとても自然なことです。休校が長く続いた後の登校になるため、これまでとは異なる不安や緊張を負う可能性があります。さらに、自分の身体や心の状態が自覚できなかつたり、認められなかつたりすることも考えられます。

学校教育目標に、目指す子どもの姿として「人とかわり」を掲げています。今は、人と人との間に身体的な距離を取ることが必要な状況です。だからこそ、「心」の距離を縮めて「人とかわること」を大切にしたいと考えます。誰しも「憂」をもっている状態です。見えにくくても「心」に不安や緊張を抱えていることを想像することは可能です。自分一人が特別ではなく、周りの多くの人が同じような気持ちを抱えていることを共感し合うことで、不安をわずかでも軽くし少しずつ安心感を生み出すことにつながるようにしたいです。一方で、不安や緊張の表れ方は、人によって異なることを認識することが欠かせないです。元気がない、落ち着きがない、ハイテンション、気持ちを表現できない等、様々です。違うことがごく自然なこととして心に留めながらかわりたいです。「漢字の気持ち」という本に、いくつかの漢字が取り上げられています。その中の一つ、「優」について読み直しました。「優」は、「イ」と「憂」の組合せで成り立っています。かなしむ人の姿を「憂」。「憂」に人を意味する人偏「イ」を加えたのが、「優」という字です。「憂」で表現されるかなしむ人の傍らに、寄り添うように「人」がいる形です。他人の憂いに心を痛め、自分のことのように憂える人が「優」とのことです。「優」という字形に象徴的に表されたやさしさや気遣い、思いやりの深さを捉え直しました。一人一人の「憂」に寄り添う「イ」、一人一人の存在があって、「優」を創り出すことがかなうと思います。まず、教職員が子どもの表情や反応を注意深く見る、話を聴く、話にうなずく等、子どもに寄り添うことを通して、子どもが困っていることを受け取れる「人」を学校に創っていくことに努めます。また、保健指導をはじめ生活や学習のオリエンテーション、「心のケア」の時間を設けて、緩やかな始まりを計画しています。

とんち話で連想する「一休さん」の愛称で有名な一休宗純僧侶の「このはしわたるべからず」の話は、皆さん聞かれたことがあると思います。一休さんが橋の前で、「このはしわたるべからず」と書かれた立て札に対して、「はしを渡ってはいけないということなので、真ん中を渡って来ました」という話です。このとんち話は「心」の置きどころを示す意味があるということを知っています。ものすごく落ち込んだり、逆にはしゃいだりして心が大きく揺らいで真ん中になんかあるけれど、「和やかに心を真ん中に置くようにしたいものです」と。「漢字の気持ち」の本にも「心」の置きどころという言葉が示されています。子ども一人一人の「心」に目を向けて、「心」の置きどころが真ん中になることを目指して、「ゆっくり、ゆったり 寄り添う」を合言葉に教育活動を始めます。

☆☆☆☆☆☆ ☆お知らせ・お願い ☆☆☆☆☆☆☆

【セクハラ窓口】

保健だよりの5月号でもお知らせしましたが、セクシャル・ハラスメント防止校内相談窓口は次の通りです。

- ・養護教諭
- ・児童支援専任

また、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクシャル・ハラスメント相談窓口として利用できます。

- ・教育総合相談センター 045-671-3726
9:00~17:00 (祝日・振替休日を除く)

専任だより

6月から段階的にはありますが、新年度の生活がスタートします。お子さんの様子はいかがでしょう。環境が変わり、緊張しながらも、学校生活に早く慣れようと頑張っているのではないのでしょうか。ご本人はもちろん、ご家族にも安心して過ごしていただくためにも、何か心配なことがありましたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。ストレスによる心と体の変化や学習についての心配等、担任、児童支援専任（特別支援コーディネーター）、養護教諭、学校カウンセラーが教育相談を行っています。

小学生の事故が増える時期でもあります。今までと比べ、子どもたちの外出の機会も増えると思われま。ご家族で、防犯や交通安全等についても確認していただければと思います。

防犯について、神奈川県警からの情報発信がありますので、ご紹介します。

【神奈川県警察 ピーガルくん 子ども安全メール】

神奈川県警察では、子どもを犯罪から守るための情報（声かけ事案・不審者情報等）を配信しています。バーコードリーダー付き携帯電話の場合は、右のQRコードを読み取り、空メール送信で手続きできます。

神奈川県警トップページ>暮らしの安全情報>ピーガルくん 子ども安全メール



不審者情報は、すぐに110番！

児童支援専任